

令和3年6月12日(土)キリスト教新約聖書

旧約聖書によると、神が天地を創造したがアダムとイブは楽園を追放された。人びとは墮落しノアの洪水で全滅、ノアの子孫が繁栄するがアブラハムが選ばれ約東の地へ。その子孫はエジプトにいたがモーゼが率いて出エジプト。その後ダビデとソロモンの時代に栄えるがバビロン捕囚でユーフラテス川の畔で暮らす。その後帰還したがやがてローマの支配を受けた。

ここから新約聖書の時代。大ローマ帝国草創期、その辺境にユダヤ人がいてヘロデの王国があった。教団は**サドカイ派**、**パリサイ派**、**エッセネ派**、**熱心党**(ゼロタイ)がいたが、おそらくはエッセネ派的な禁欲的グループから洗礼者ヨハネが出る。ヨハネの教団の中から、真の救世主・イエス・キリストが出現した。

新約聖書は27編から成る。**歴史(福音書と使徒行伝)**、**手紙**、**預言(ヨハネ黙示録)**から成る。成立が古いのはパウロの手紙。福音書はマタイ、マルコ、ルカ、ヨハネがあり、前三者は共観福音書と呼ばれる。成立はマルコと**Q資料**とが先にあったと想定されており、マタイとルカはマルコと**Q資料**を足したものだと考えられている。ヨハネ伝は独特で、ヨハネ文書類と呼ばれることもある。

マルコ、マタイ、ルカ、ヨハネの冒頭をそれぞれ読んだ。マルコの冒頭には出生の話はない。マタイとルカにはある。マタイは長い系図から始まり、イエスがユダヤ人の王の子孫だと示す。ルカはギリシア人の医者でテオピロ総督に提出するために書いてある。ヨハネは「はじめにロゴスがあった」から始まり、文献学者からは信仰告白の書の色合いがより強いと言われる。

「荒野は荒れているが、**ガリラヤ湖**のあたりは穏やかで豊かなのだとか」「イエスの公的活動までの経歴は明らかにしていない。印度で修行していたといった俗説もあるが」「イエスは旅をして病氣治しをする。ヘレニズム期には新興宗教が多く誕生した。**アスクレピオス**は旅をしながら病氣を治す神だ」「安息日に収穫をしたら体制派から憎まれた。がイエスは、**安息日は人間のためにある、安息日のために人間があるのではない、**と言う」「取税人やハンセン病の患者、罪あるとして差別された人びととイエスは交わり福音を説いた」「神殿が破壊され、神殿のユダヤ教ではなく律法のユダヤ教が強力となった。これではないものとしてキリストの福音を信じた人びとが、福音書を記述している、と言う研究者がある」「**マリア**は受胎告知で祝福されているが、実はイエスは十字架で虐殺された。マリアは世界一不幸な女性かもしれない。しかしイエスは復活した、という観点から、世界一幸福な女性、ということになっているのかも」「旧約イザヤ書の**インマヌエル預言**がイエス・キリストの誕生を預言」「虐殺を避けエジプトに移動したとか」「イエスはベツレヘムの**馬小屋で生まれた**。大ローマ帝国の辺境のさらにもっとも貧しい場所です。真の救世主が生まれた、という図式になっている」「**荒野で悪魔の誘惑を退けた**。悪魔の誘惑は、**食料(経済)**重視、**神の奇跡をむやみに見たがる**、**悪魔崇拜で権力や富を欲する**、であるが、イエスは全て退けた」「人はパンだけで生きるのではない。神を試してはならない。神のみを拜むべきだ」「現代人は何を**偶像崇拜**しているか」「**国家**、**金**。あるいは**地位**、**名誉**、**勲章**」「**アイドル**も」「はじめに**ロゴス**があった、とギリシア語哲学の概念を用いて語るから固くなる。気仙沼の**山浦玄嗣**は、はじめにあったのは神様の思いだ、と訳する。神様の熱い愛の思いが言葉になり事実として成就していった」「**言霊**に似ているかも」

「イエスがエルサレムで**宮清め**をしたのはどうか」「そこが生活の場所でもあるのに、破壊されたら庶民はたまらない。イエスは一方では差別された人を愛したの

に、どういうわけか」「クロムウェルもアイルランドでひどいことをした」「世界に秩序は要るので、私の父の家、として父親を大事にすることを教えたとか?」「宮で商売をする人たちは、特許をとってしていたはずなのに、ひどいではないか」「ここは神への信仰を大事にせよ、ということでは」「神を信仰するがやむなく地上で罪とされることをして生活をするのと、**神をだしにしてあくどく金儲けをする**のとは、違う」「神を金儲けの手段にしている」「今の日本人は多くは無神論で、イエスのこの振るまいは賛同しないのでは」「昔の日本人はもつと道徳心や宗教心があったが、今の日本人は金儲け主義に陥っているのでは」「幕府を倒した後、大久保利通は豪邸に住んだという。西郷隆盛は子孫のために美田を残さない、と詩に歌っている」「内村鑑三は、アメリカも日本も文明と金を押んでいるのであって、信仰心が足りないのはだめだ、として徹底的に批判した。『代表的日本人』では信仰心・道徳心の強い五人を紹介している」「**私たちは金のために生きているのか?**」そうではなく、**幸福**を目指す、とある人は言う。そうではなく、**道徳**を目指す、とある人は言う。**福と徳は一致するか?** それとも逆立するのか?」「清貧の哲学者**デイオゲネス**は、アレクサンダー大王に『何かして差し上げることはないか』と問われ『そこをどいてくれないか』と言った。**達磨大師**も帝王に坐禅の効用を問われ『無功德』と言って見せた」「江戸時代に**神社奉行**の支配で寺が行政機関の下請けとなった。明治の初めに**廃仏毀釈**で仏教を否定した。**国家神道**は人びとの素朴な信仰心を否定・抑圧したとも言える。戦後は新宗教が多く出たが、今や拝金主義が社会の潮流となってしまった」「中華街に道観があり**関帝**が祭つてある。関羽(関帝)がなぜ商売の神様か。それは**関帝が信義**を全うしたからだ。商売は信用、信頼が大事だ。では、信用、信頼とは何か。狭いムラ社会で裏切りあうことなく暮らすことは容易に想定できるが、グローバルに広い世界、二度と会わないかも知れない相手と信用、信頼を全うできるか。また特定の相手とのみ信用・信頼を保つのでよいのか」「**渋沢栄一**は日本に資本主義、実業を入れたが、『論語』読みでもあった。入試のためではなく人間としてより善く生きようとして『論語』を読んだ。今渋沢が生きていたら、グローバルサウスを踏みつけにする今のシステムを変えようとするのでは」「金儲け以外に、家族、教会、地域社会などが生活の基盤だったのに、人びとは**市場経済(資本主義)**の下でバラバラにアトム化され、資本の下で再編成された。金儲けが至高の価値とされ、毎日アメリカの一流企業の株価をニュースで聞かされる」「**日本はバブルが崩壊して30年経った。ゼロ成長時代には、かつての金儲け主義ではなく別の価値観を持った若者が社会の中心になる、**と言われている。あと二十年だ」「その時経済成長は否定しても、勤勉も否定されるのか」

東方の三博士は占星術師。イエスの誕生日は12月25日とは書いていない。冬には羊飼いは外にいられない。ミトラ教の祭日を取り込んだのだ。三位一体は聖書の記述は後世の付加だとか。しかし内村鑑三は、信仰の目で見れば**三位一体は真実**、と言う。

「ヘロデが子どもたちを虐殺した。いかななものか。神はそれを見過ごすのか」「**神義論**は古来問われていた。ただし虐殺をしたのは人間であって神ではない」「教会は過ちも多くしたが、それでも教会があったから信仰が伝わった」「**帝国が公認する前と後で信仰が変容したかも**」「無力だったペテロたちがどうして強い存在に変容したのか、を**遠藤周作**は問う」「今回の話はどこかで聞いた話ではあったが、多少でも深まってよかった」「自分はかつてキリスト教に共感していた。自分の立ち位置をどうとるか」「徳についての考察が深まった」「東方の三博士には、実はもう一人いて、その名を**アルタバン**と言う。アルタバン物語は聖書にはないがヘンリー・ヴァン・ダイクの小説。アルタバンはイエスを探し求める旅で弱い人、困っている人を助け続ける。これがキリスト教徒のやることで、仏教や儒教よりも強いところだ。キリストにならってハンセン病の方の世話などもずっとしてきた」

付言ながら、カトリックの系列は上智大、聖心女子大、聖カタリナ大、栄光学園、愛光学園、ラ・サール高校、聖光高校など。英国国教会(日本聖公会)に近いのは立教大、聖路加国際、桃山学院大、プール学院。プロテスタント系は、「・・学院大」とあれば大体プロテスタント。西南学院大、関西学院大、青山学院大、明

治学院大、関東学院大、東北学院大、神戸女学院など。ICUもプロテスタント系。津田塾にも実はチャペルがある。大学によってどこまで礼拝や聖書学を必修や選択にしているかは異なる。(必修の所は少ないようだ。)

補足…**東方の三博士の贈り物**に込められた意味は、黄金は現世の王の中の王の象徴。乳香は神に祈るさいに用いるものでイエスが聖別された存在、神であることを示す。没薬は死体の防腐剤でイエスの死と贖罪・復活を意味する。このように何かに書いてあった。また、東方の三博士はギリシア語で「マゴイ」つまりマジシャン。東方の聖職者、占星術師、魔術師。6世紀には彼らは王だったとされ、10世紀にはガスパール、メルキオール、バルタザールと名前がつけられ、15世紀には三大陸から来たと考えられるようになった(女子パウロ会のラウダーテというサイトから)。